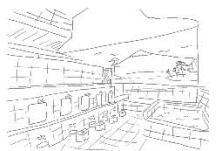


温室

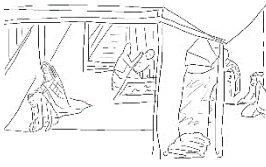
うちの娘は「おつき
いお風呂いこ おつ
きいの ぎやーー



（泣）」とよく騒いでいます。スーパー銭湯に連れて行け
と言うのです。今ではあちこちにできているスーパー銭
湯。しかし、このようなお風呂があるのは世界でも日本
ぐらいのようです。あつたとしても水着で入るなどの制
約があります。

この銭湯のはじまりをたどりますと、仏教から始まり
ます。インドでは、仏教が始まる以前から沐浴の施設が
整えられたりと、体を清めることを大事にしてきまし
た。この施設を温室や湯屋といいます。（おんしつ）では
なく（へうんしつ）と読みます。

日本に仏教が入り、洗浴をする功德を説いたお経が伝
えられます。寺院には温室が建てられ、社会事業の一環
として、病気の人や貧しい人に開放されました。東大寺
の絵巻には、光明皇后が病人の身体を洗うと、病人は光
を放ち仏になったという伝説が描かれています。



時代は進み、室町時代の末期になると一般
化し、銭湯が始まります。
銭湯に入る時、少しでも仏教を感じて頂
けたならこれ幸いです。

ある夜のこゝろ
「月が追いかけてくる
月が追いかけてくる」
子供は詩人
おのむね

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用
語を紹介して
います。

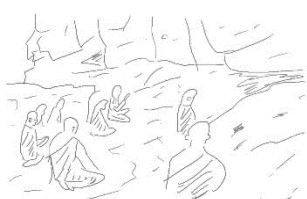
会釈

おはようございます。今日
も寒いですねえ 公園で



の軽い挨拶と軽い会釈で、私の一日は始まります。この会釈は
仏教用語なのですが、元々挨拶の意味では使われてはいません
でした。

会釈は、和会通釈の略称です。約2500年前、インドでお
釈迦様は教えを広められました。その指導方法は対機説法。病
気に合わせて薬を変える様に、その人に合わせて教え方を変え
られました。ある人には熱心に修行しなさい、ある人にはもう
少し楽をしなさいと。時には矛盾するようなこともあつたよう
です。そして、お釈迦様が亡くなられてから問題が生じます。
それぞれ言われ方が違っていたからです。そこで、教えを確認
しようとい度も会議が開かれお経が成立していきます。この時
に、教えが違つたと非難するのではなく、それぞれの伝えられた
教えを照らし合わせ、教えの根本に立ち返り、融合させていく
という作業が始まりました。会釈の始まりです。



後に、多方面に気を配り、相手の心を推し量
ろうとするための応対を会釈というようにな
りました。平和に生きていくために、日々の
会釈をお勧めいたします。